

道内の木材市況概況(令和3年4月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向	
素材	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	12,800	0	(道産材) ・エゾ・トド、カラマツともに製材受注が上向いている中、原木流通量は少なめの状況が続いており、原木不足感がある。市況は、エゾ・トド原木、カラマツ原木ともに保合～強保合。 ・広葉樹原木は、樹種により、弱含み～強保合。 (外国産材) ・米材丸太の3月の輸入量は0千m ³ (前月0千m ³ ・前年同月0千m ³)。3月末港頭在荷量は5.4千m ³ (前月比84%・前年同月比82%)。	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,400	100		
	カラマツ	径20~28cm 長3.65m 品等込	工場着	10,700	100		
	*エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,200	100		
	*ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	26,000	△ 600		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	56,100	300	(道産材) ・エゾ・トド製材は、栈木等の動きが良く生産量は上向いている。また、引き続き輸入材の代替で建築材の引き合いは強いものの全部には対応できていない。市況は保合～強保合。 ・カラマツ製材は、コンテナの世界的な停滞から、スチール製資材の代替等で梱包材の引き合いが強まっている。市況は保合～強保合。 (住宅着工戸数) ・3月の新設住宅着工戸数は前年同月比113%。 (外国産材) ・米材製材の3月の輸入量は0千m ³ で前月比0%、前年同月比0%。3月末港頭在荷量0.4千m ³ で前月比84%、前年同月比13%。	
	カラマツ	梱包材: 定尺	工場渡	31,000	100		
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm 上長2.0m以上 板類1	工場渡	218,000	12,000		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	1,010	50	・市況は強保合。	
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,900	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは強保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0		
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ	7,300	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ	9,900	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。

注4 四半期項目(樹種名の前に「*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3~4月価格は接続しないで表示する。